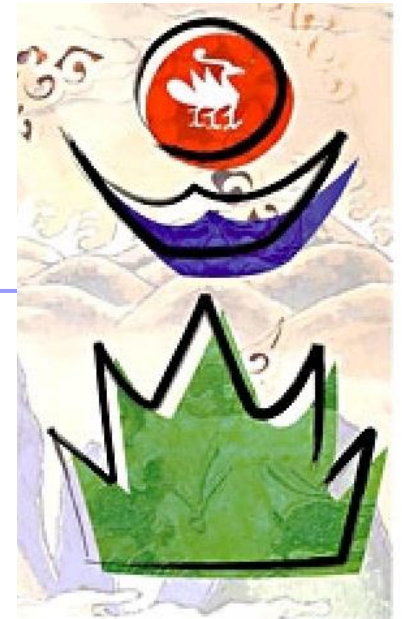




663年
白村江の戦いの東洋天文学的意義

2015年2月11日



大真大学校 チェ・ウォンヒョク

要約

- 三機能体系がユーラシア・ネットワークの共同文化遺産であることが明らかになりつつある
- 東アジアの三機能体系は立体五行と三綱五倫の形態で内在化している
- 663年の冬至は六十甲子の始まりの日付に比定される
- 663年の冬至は最初の中日戦争であり、韓中日・東アジア三機能体系の起源である。

Table of Contents

I. 三機能体系としての東洋天文学

II. 東アジア三機能体系の変遷

III. 東洋天文学における663年の意味

IV. 663年 白村江の戦いの三機能体系としての意義

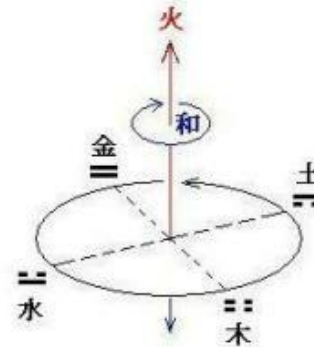
三機能体系がユーラシア・ネットワークの共同文化遺産であることが明らかになりつつある



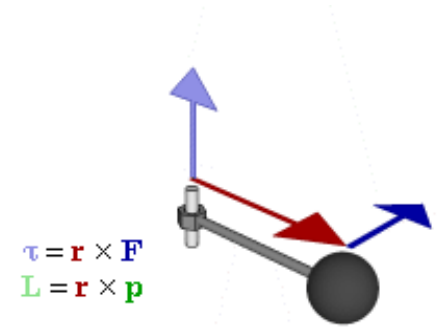
キム・ジョンミン博士『檀君の国カザフスタン』より

三機能体系

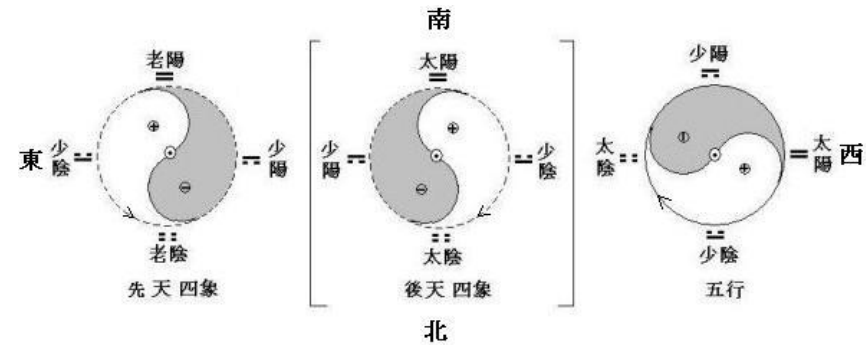
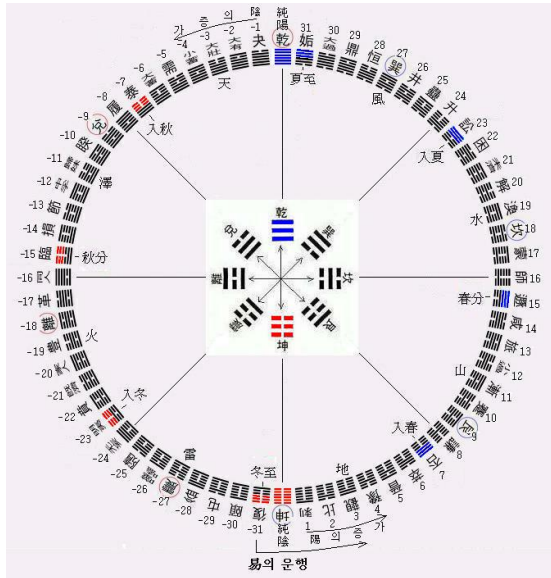
区分	治化	教化	造化
デュメジル	政治	宗教	生産
トロイア戦争	アテナ	ヘラ	アプロディーテー
カースト	クシャトリヤ	バラモン	シュードラ ヴァイシャ
三綱五倫	君	師	父
三韓	弁韓	辰韓	馬韓
東洋三国	中国	韓国	日本



사머니즘의 각종 도상이 장식된 옥황(금관) 소품, 꽃나무, 대추 모양, 발(하트) 모양, 반달 모양 노리개들이 달렸다. 청주 금관총, 4세기 전후.



東洋天文学の三機能体系



『黄帝内经』素問第67篇「五運行大論」には、黄帝の師である岐伯が黄帝に告げる言葉の中に「大地は人の足の下にあるが、太虚（太虚；宇宙）の中間で大気（大気）がこれを支えているため、風（風）・寒（寒）・暑（暑）・湿（湿）・燥（燥）・火（火）が生じる」とある。

パク・ヨンギョ『立体五行』より